

トヨタ紡織が湧永破りプレーオフ進出へ前進

～ 第30回日本ハンドボールリーグ第14週～

第30回日本ハンドボールリーグ第14週は大分、佐賀で男子のみ3試合が行われ、首位争いを演じる大同特殊鋼、大崎電気はともに勝利を収めたものの、3位につける湧永製薬はトヨタ紡織九州に手痛い逆転負けを喫した。

大同特殊鋼は最下位・ホンダ熊本と対戦した。ホンダ熊本・松本の7mTで先制を許した大同だったが、李才佑のミドル、趙範衍の速攻で逆転に成功、この後は一方的な大同ペースとなった。大同は堅いDFからの速攻をベースに、趙のキレ味鋭いフェイント、武田の打点の高いロング、末松のカットインなど個人技も交えて次々とホンダ熊本ゴールを破っていく。前半10分5 - 4から怒涛の14連取を見せた大同が前半を終えて21 - 6と大量リードを奪った。

前半わずかに6点と良い所がなかったホンダ熊本も、後半によやく意地を見せる。前半とは見違えるように攻撃が活性化されたホンダ熊本は、センター松本のゲームメイクからベテラン池辺のポストシュート、サウスポー榎田のミドルなどで得点ペースをあげ15得点。それでも、着実に得点を重ねる大同の背中を捕らえることはできなかった。結局、40 - 21の大勝を収めた大同が首位の座をがっちりとキープした。大同は趙、李、末松を軸に多彩な攻めを披露、畠中、富田ら控え選手もきっちりと結果を残す磐石の試合展開だった。

大同と2敗で並ぶ大崎電気は6位トヨタ車体の挑戦を受けた。試合は両者がクイックスタートをしかけ、エキサイティングなシーンが続出した。開始1分36秒、ケガから復帰した香川のシュートでトヨタ車体が先制点を挙げれば、大崎も岩本ですぐに同点に追いつく、といったように取っては取られの展開が続く、前半18分10 - 10。ここから豊田、岩本の3連打で大崎が抜け出しにかかるものの、トヨタ車体も踏ん張る。トヨタ車体は香川、崎前、北出らが23分から27分の間に6点を集中させる爆発力で逆転。17 - 16とトヨタ車体が先行して前半を折り返した。

番狂わせの予感も漂う会場の雰囲気は打ち破ったのは大崎が誇るエース宮崎だった。前半わずかに1得点と沈黙していた宮崎だったが、地元の大分開催、そしてチームのピンチに奮起。持ち前の高いジャンプ力を武器に、5連続得点をマークした宮崎の活躍で大崎が後半11分27 - 21と一気に態勢を入れ替えた。頼れるエースに引っ張られるように東、佐藤らが加点した大崎は後半18分34 - 25と差を広げていく。トヨタ車体も崎前、辻、藤田の4連打など最後まで必死に粘ったものの、届かず。トヨタ車体の善戦に手を焼いた大崎だったが、最後は地力を発揮し36 - 33としっかりと勝利をものにした。

大同、大崎の2強を追い湧永製薬は前週にプレーオフ進出を決めるなど波に乗っていたが、残り1つのプレーオフ枠を狙うトヨタ紡織九州の執念に屈した形。試合は一進一退の攻防だった。湧永がこのところ好調を維持する左腕・浜本の得点やセンター小藪とポスト山口のホットラインで攻めれば、トヨタ紡織は村上(秀)らが繰り出す得意の速攻や中畠の強打で応戦する。後半14分21 - 20と湧永がわずかにリードして迎えた終盤、トヨタ紡織はサイド村上(直)、センター呉相民の連打で逆転すると呉相民が続けて7mTを沈めて後半23分23 - 21。トヨタ紡織はこのリードを守り切って、24 - 23で勝利。6人の退場者を出す苦しい展開を執念で粘り、貴重な勝点2を得たトヨタ紡織は、初のプレーオフ進出に向けて前進した。一方、勝負の終盤にシュートを決めきれず逆転負けを許した湧永は4敗となり、2強の背中がやや遠のいた形となった。



貴重な勝利を挙げたトヨタ紡織九州・呉相民

第15週の日程

[1 部]

1月7日(土) 埼玉・富士見市市民総合体育館(東武東上線鶴瀬駅徒歩30分)14:00～(男)大崎電気×トヨタ紡織九州
1月8日(日) 奈良・生駒市市民体育館(近鉄奈良線生駒駅徒歩15分)13:00～(男)ホンダ×ホンダ熊本
山口・周南市総合スポーツセンター(JR山陽本線徳山駅徒歩15分)14:00～(男)湧永製薬×トヨタ車体

[2 部]

1月8日(日) 東京・駒沢屋内球技場 14:00～HC東京×豊田合成



大同特殊鋼・末松

12月18日(日) 男子1部
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ

トヨタ紡織九州 24 (15-16) 23 湧永製薬 10勝0分4敗
7勝0分8敗 (9-7)

3/5	中 畠	下 川	3/5
0/0	高山	小 野	0/0
3/5	村上直	浜 本	6/6 2/2
2/4	植 木	山 中	0/3
5/7	村上秀	福 田	0/0
1/1	2/6 呉相民	吉 田	0/0
0/0	佐久間	小 藪	2/4
0/0	鶴 田	坪 根	K <1/2>
0/0	田中慎	沢 田	2/8 2/2
1/2	阪 川	山 口	0/0
<0/3>	K 谷 川	松 村	K <0/2>
<0/1>	K 松 野	古 家	3/7
4/5	朴正鎮	渡 辺	0/0
2/3	1/1 藤 山	山 口	3/7

3/4 21/35 15(FPP)9 19/40 4/4
審判(仲田・植村) 観客 476人

12月18日(日) 男子1部
大分・大分県立総合体育館

大同特殊鋼 40 (21-6) 21 ホンダ熊本 0勝0分15敗
13勝0分2敗 (19-15)

<0/1>	K 荻 田	藤 田	K <0/1>
6/7	松 林	大 宮	3/6
1/1	8/10 趙範衍	米 満	2/2
1/1	7/11 末 松	上 田	0/0
1/1	1/1 中 谷	本 多	1/2
0/0	0/0 市 原	大 井	1/5
3/8	武 田	佐 伯	1/5
2/3	3/11 畠 中	松 岡	K
1/2	大 田	松 本	3/6 2/2
6/11	李才佑	松 延	K <0/1>
<0/1>	K 高 木	池 辺	3/5
2/2	2/5 山 本	櫛 田	5/13
2/2	2/2 富 田		
0/0	0/0 渡久川		

2/2 38/60 3(FPP)2 19/44 2/2
審判(安田・永春) 観客 1582人

次週のみどころ

次週は全日本総合選手権(12月21~25日・福井)と年末のブレイクが明けた新年1月7日から熱戦が再開される。プレーオフに進出する4チームのうち大崎電気、大同特殊鋼、湧永製薬が出場権を獲得、残る1枚の切符をめぐってトヨタ紡織九州とホンダが激しく競り合っているが、今週で湧永製薬に競り勝ったトヨタ紡織が7勝目をマークしたことでぜん有利な状況になってきた。次週はトヨタ紡織が大崎電気、ホンダはホンダ熊本と対戦する。すでに両者の直接対決は終えており、ホンダにとってはがっちり白星をマークして9年連続のプレーオフ進出に望みをつなぎたいところ。

12月18日(日) 男子1部
大分・大分県立総合体育館

大崎電気 36 (16-17) 33 トヨタ車体 3勝1分11敗
12勝0分2敗 (20-16)

7/9	豊 田	木 下	K
0/0	加 藤	田中勝	0/0
2/2	0/0 前 田	佐々木	1/2
1/4	4 川 川	辻	1/1
2/2	2 佐 藤	新 美	0/0
0/1	1 永 島	野 村	6/13
7/11	岩 本	藤 下	1/2
0/0	0 森 本	近 竹	5/6
2/4	4 太 田	北 出	3/8
K	濱 口	平 水	K <0/3>
2/3	3 東 原	清 香	2/2
K	石 原	崎 川	4/11
3/6	3 猪 妻	崎 前	6/6
9/15	9 宮 崎	藤 田	4/6

3/3 33/55 13(FPP)4 33/57 0/0
審判(池淵・檜崎) 観客 1582人

男子2部 HC東京が順当に勝利

男子2部は豊田合成 - HC東京の1試合のみ行われ、両チームとも立ち上がりはシュートミスが目立ったが、5分過ぎからグリムスターの連取でペースをつかんだHC東京が終始先行、糸田の速攻、サイドなどで追撃する豊田合成に17-13と4点差をつけて前半を折り返した。

後半に入って豊田合成は原、糸田のシュートでゲームの流れをつかもうとするが、東京が5分過ぎにDFを6-0シフトにチェンジすると7分間ノーゴールと沈黙してしまい、この間に着実に追加点を奪った東京が27-17とリードを広げて試合を決定づけた。

12月17日(土) 男子2部
愛知・豊田合成(株)健康管理センター

HC東京 35 (17-13) 28 豊田合成 1勝0分4敗
3勝0分2敗 (18-15)

0/0	0 三 坂	石 橋	0/0
0/0	0 K-レファ	原	4/5
2/3	2 泉	坂	0/1
1/1	5/7 田 中	山 越	4/6
<0/1>	K 宇田川竜	桶 谷	1/1
2/2	0/1 水 野	門 野	0/0 2/2
4/6	6 木 村	糸 田	6/11
2/2	2 須 藤	湯 脇	3/3
<0/1>	K 宇田川敏	名 倉	K
3/3	3 五 島	佐 藤	7/13
5/5	5 古 川	半 田	1/3
10/16	16 グリムスター	山 田	0/1
1/1	1 堤	佐 藤	K <0/3>
		吉 田	0/0

3/3 32/44 22(FPP)8 26/44 2/2
審判(坪井・河合) 観客 215人

新規加盟チームのお知らせ
下記のとおり、MIE. violet' IRISの日本ハンドボールリーグへの新規加盟をお知らせします。

チーム名: MIE. violet' IRIS
(NPO 法人 三重花菖蒲スポーツクラブ)
設立年月: 平成14年6月
所在地: 三重県鈴鹿市
加盟時期: 平成18年4月
(第31回日本リーグ女子1部)

男子2部個人賞レース(第14週終了)

得点王

1	福田 拓馬	(トヨタ自動車)	51点	(6試合)
2	桜井 涉	(北陸電力)	40点	(6試合)
3	神田 友和	(北陸電力)	37点	(6試合)
4	佐藤 豪洋	(豊田合成)	25点	(5試合)
5	0・グリムスター	(HC東京)	24点	(3試合)
6	高田 哲志	(北陸電力)	22点	(6試合)
6	高橋 準	(北陸電力)	22点	(6試合)
8	落合 信也	(北陸電力)	21点	(6試合)
8	水野 裕矢	(HC東京)	21点	(5試合)
8	前田 亮介	(北陸電力)	21点	(6試合)
11	糸田 浩太	(豊田合成)	19点	(5試合)
12	倉田 正洋	(トヨタ自動車)	17点	(6試合)
12	武藤 崇之	(HC東京)	17点	(4試合)
14	原 貴之	(豊田合成)	16点	(5試合)
15	山越雄一朗	(豊田合成)	15点	(5試合)
15	古川 眞司	(HC東京)	15点	(4試合)

フィールドゴール得点賞

1	神田 友和	(北陸電力)	37点	(6試合)
2	福田 拓馬	(トヨタ自動車)	30点	(6試合)
3	佐藤 豪洋	(豊田合成)	25点	(5試合)
4	0・グリムスター	(HC東京)	24点	(3試合)
5	高田 哲志	(北陸電力)	22点	(6試合)
5	高橋 準	(北陸電力)	22点	(6試合)

7	落合 信也	(北陸電力)	21点	(6試合)
7	前田 亮介	(北陸電力)	21点	(6試合)
9	糸田 浩太	(豊田合成)	19点	(5試合)
10	倉田 正洋	(トヨタ自動車)	17点	(6試合)
10	桜井 涉	(北陸電力)	17点	(6試合)

シュート率賞

1	落合 信也	(北陸電力)	0.700	21点/30射
2	倉田 正洋	(トヨタ自動車)	0.654	17点/26射
3	高田 哲志	(北陸電力)	0.647	22点/34射
4	神田 友和	(北陸電力)	0.561	37点/66射
5	高橋 準	(北陸電力)	0.512	22点/43射

7mスロー得点賞

1	桜井 涉	(北陸電力)	23点	(6試合)
2	福田 拓馬	(トヨタ自動車)	21点	(6試合)
3	武藤 崇之	(HC東京)	9点	(4試合)
4	水野 裕矢	(HC東京)	6点	(5試合)
4	門野 学	(豊田合成)	6点	(5試合)

7mスロー阻止賞

1	安藤 功規	(北陸電力)	0.300	3本/10射
1	佐藤 優	(トヨタ自動車)	0.300	3本/10射
3	稲本 圭亮	(トヨタ自動車)	0.286	2本/7射
4	有江 啓	(北陸電力)	0.273	3本/11射
5	山本 敏	(トヨタ自動車)	0.125	1本/8射

7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象

男女1部個人賞レース 第14週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 白元 喆 (大同特殊鋼)	129点	(14試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	48点	(5試合)
2 宮崎 大輔 (大崎電気)	99点	(14試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	44点	(5試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	92点	(15試合)	3 田中 美音子 (ソニー)	40点	(5試合)
4 野村 広明 (トヨタ車体)	91点	(13試合)	4 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	36点	(6試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	87点	(15試合)	5 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点	(6試合)
6 小倉 学 (ホンダ)	76点	(14試合)	6 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
7 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	71点	(15試合)	7 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
8 山口 修 (湧永製薬)	68点	(14試合)	7 中村 尚美 (北国銀行)	25点	(5試合)
9 下川 真良 (湧永製薬)	66点	(14試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	25点	(6試合)
10 豊田 賢治 (大崎電気)	65点	(14試合)	10 水野 恵子 (オムロン)	23点	(6試合)
11 東 俊 介 (大崎電気)	63点	(14試合)	11 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点	(6試合)
11 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	63点	(10試合)	11 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	22点	(6試合)
13 古家 雅之 (湧永製薬)	62点	(14試合)	13 青戸 あかね (メイプルレッズ)	20点	(6試合)
14 大井 守 (ホンダ熊本)	58点	(14試合)	13 武井 夏紀 (北国銀行)	20点	(5試合)
15 櫛田 亮介 (ホンダ熊本)	57点	(15試合)	15 上町 史織 (北国銀行)	19点	(5試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	99点	(14試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	37点	(5試合)
2 白元 喆 (大同特殊鋼)	94点	(14試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点	(5試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	90点	(15試合)	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点	(6試合)
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	87点	(15試合)	4 田中 美音子 (ソニー)	28点	(5試合)
5 小倉 学 (ホンダ)	76点	(14試合)	4 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	28点	(6試合)
6 野村 広明 (トヨタ車体)	74点	(13試合)	6 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
7 山口 修 (湧永製薬)	68点	(14試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	25点	(6試合)
8 下川 真良 (湧永製薬)	66点	(14試合)	8 水野 恵子 (オムロン)	22点	(6試合)
9 豊田 賢治 (大崎電気)	65点	(14試合)	8 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点	(6試合)
10 東 俊 介 (大崎電気)	63点	(14試合)	10 青戸 あかね (メイプルレッズ)	20点	(6試合)
			10 武井 夏紀 (北国銀行)	20点	(5試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 東 俊 介 (大崎電気)	63点/ 81射	0.778	1 水野 恵子 (オムロン)	22点/ 34射	0.647
2 山口 修 (湧永製薬)	68点/ 94射	0.723	1 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点/ 34射	0.647
3 下川 真良 (湧永製薬)	66点/ 97射	0.680	3 水野 由加里 (HC名古屋)	26点/ 41射	0.634
4 豊田 賢治 (大崎電気)	65点/ 96射	0.677	4 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点/ 46射	0.630
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	87点/ 135射	0.644	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点/ 55射	0.618

7mスロー得点賞

1 白元 喆 (大同特殊鋼)	35点	(14試合)	1 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
2 浜本 忠志 (湧永製薬)	20点	(13試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	14点	(5試合)
3 前田 誠一 (大崎電気)	18点	(14試合)	3 田中 美音子 (ソニー)	12点	(5試合)
4 野村 広明 (トヨタ車体)	17点	(13試合)	4 吉田 祥子 (オムロン)	11点	(4試合)
4 小沢 勝利 (湧永製薬)	17点	(13試合)	5 中村 尚美 (北国銀行)	9点	(5試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 濱口 靖 (大崎電気)	5本/ 16射	0.313	1 高森 妙子 (メイプルレッズ)	5本/ 10射	0.500
2 坪根 敏宏 (湧永製薬)	7本/ 23射	0.304	2 田代 ひろみ (北国銀行)	9本/ 23射	0.391
3 高木 尚 (大同特殊鋼)	5本/ 17射	0.294	3 吉村 あゆみ (HC名古屋)	3本/ 8射	0.375
4 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	13本/ 49射	0.265	4 勝田 祥子 (オムロン)	5本/ 16射	0.313
5 谷川 一寿 (トヨタ紡織九州)	6本/ 24射	0.250	5 木澤 尚子 (北国銀行)	3本/ 12射	0.250
5 四方 篤 (ホンダ)	5本/ 20射	0.250			

第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第14週終了 12月18日

順位	1部男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	ホンダ	トヨタ車体	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		33 30	32 27	37 37 32	35 35	37 30 31	32 36 40	15	13	0	2	26	504	420	84
2	大崎電気	32 37		32 28	29 39	41 35	39 37 36	32 38 40	14	12	0	2	24	495	404	91
3	湧永製薬	31 28	31 33		25 26 23	28 36	28 24	25 24 31	14	10	0	4	20	393	353	40
4	トヨタ紡織九州	31 28 31	28 30	24 28 24		32 30 26	25 38	31 32	15	7	0	8	14	438	443	-5
5	ホンダ	30 30	32 27	21 28	30 25 36		27 25 34	33 31	14	5	1	8	11	409	416	-7
6	トヨタ車体	30 21 29	20 29 33	24 23	30 26	25 25 24		31 36	15	3	1	11	7	406	464	-58
7	ホンダ熊本	20 21 21	26 31 21	15 23 24	26 22	24 20	28 25		15	0	0	15	0	347	492	-145

順位	1部女子	メイブルス	オムロン	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルス		30	42	32 30	28 26	6	6	0	0	12	188	147	41
2	オムロン	27		28 26	30	38 35	6	5	0	1	10	184	132	52
3	ソニーセミコンダクタ九州	37	25 25		34	39	5	2	0	3	4	160	149	11
4	北国銀行	27 18	21	31		29	5	1	0	4	2	126	146	-20
5	HC名古屋	24 14	20 11	22	20		6	0	0	6	0	111	195	-84

順位	2部男子	北陸電力	HC東京	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23 27	29 39	28 30	6	6	0	0	12	176	126	50
2	HC東京	21 20		35	24 28	5	3	0	2	6	128	117	11
3	豊田合成	18 19	28		25 25	5	1	0	4	2	115	150	-35
4	トヨタ自動車	24 24	20 19	28 19		6	1	0	5	2	134	160	-26

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。